

# ぼくのピンチ お助けMAP

茗溪学園中学校

2年F組

岡本 琳太郎

## 調査の動機

猛暑日に体育の授業の後に熱中症気味になってしまい、慌てて自動販売機を探しスポーツドリンクを購入し一気に飲んだ。これから夏に向けてもっと暑くなる。通学中に喉が渴いたときにどこに水分補給ができる場所があるか知っておいたほうが良いと思った。さらに自分の緊急時のために、どこに何があるか知っておくべきだと感じた。

## 調査の目的

調査の中で疑問に思ったことを明らかにする。通学途中や、自分の家の周りの緊急時に使用できる設備を調べ、分布をまとめる。

参考文献  
1. 7月14日 環境生活部危機管理課 (2019) 「つくば市総合防災マップ」P33  
2. 日本救急医療財団 全国AEDマップ (2022年8月20日)  
3. NTT東日本公衆電話設置検索 (2022年8月20日)

## 調査方法

- ①資料を元に調査する  
インターネット上の情報や市が出している防災ブックを元に、施設や設備の場所を確認する。
- ②実地調査  
施設や設備に行き実際に確認し、写真を撮る。

## 僕のピンチ

家のトイレが使えなくなってしまった。どうする？

● シールの所は公衆トイレなので、そこを使う。公衆トイレとは、私設以外のトイレである。基本的に24時間空いているトイレといえば公衆トイレだが、コンビニなどのトイレも24時間空いているので、非常時に利用するのでもいいだろう。ただし、本来そのお店を利用する人のためのトイレだということを忘れないようにしましょう。



## 僕のピンチ

炎天下、のどが渇いたけど水筒を持っていない。どうしよう？

● シールのある所で飲み物を買おう。洞峰公園の体育館と茗溪学園には、災害対応自動販売機(緊急時飲料提供ベンダー)がある。これは災害時に無料で飲料を提供してくれ、停電時にも使用可能である。使い方は緊急時専用の「非常開錠キー」で自販機の扉を開け、自販機内の「飲料搬出ワイヤー」を引くと、飲料が搬出される。

## 僕のピンチ

大変だ！人が倒れてる。心肺蘇生をしている人にAEDを持ってきてと頼まれた。どうする？

● シールのある所からAEDを持ってくる。そして使用し救命活動に参加する。AEDとは自動体外式除細動器と言い、電気ショックを行い心臓を正常な動きに戻すものである。使い方は、AEDの電源を入れ、音声ガイダンスに従って操作する。電気ショックの指示があった場合は、周囲の人に離れるよう指示したあと、ショックボタンを押す。

## 僕のピンチ

不審者に出会ってしまった。どうする？

● シールの所は、子ども110番のポスターの貼ってあるお店や家なので逃げ込もう。子どもを守る110番の家とは、子どもたちが街で知らない人から「声掛け」、「痴漢」、「つきまとい」などの被害を受けたときに助けを求めて逃げ込むための場所であり、子どもたちを保護し、警察や学校等への通報を行ってくれる。

## 僕のピンチ

通信障害が起こり、携帯電話が使えない。どうする？

● シールの所に行けば電話が使える。公衆電話とは不特定多数の人が利用できる公衆の電話である。災害等の緊急時に電話が混み合い通信規制が実施される場合であっても通信規制の対象外として使うことができる。また停電時であっても使用できる。使い方は、受話器を上げ、硬貨またはテレホンカードを投入し電話番号を押す。10円で1分、100円で10分程度(固定電話の場合)話せる。

## 僕のピンチ

大地震が発生した。家にいるのが危険だ。どうしよう？

● シールのある所が指定避難所(二の宮小学校)なので、そこに行こう。指定避難所とは災害の危険性があり避難した住民や災害により家に帰れなくなった住民等を災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在させることを目的とした施設で、市町村が指定するものである。

## まとめ・考察

今回この地図を作成して、自動販売機が至るところにあり、いざとなったときに安心だと思った。しかし災害対応自動販売機が少なくその点に対しては不安がある。AEDの設置場所を確認することができたが、設置場所が施設内にあり、施設が閉まる夜間は使用できない事がわかった。公衆電話という言葉は耳にするが、実際に使ったことは一度もなかった。今回調べて使い方を知ることができ、よかった。最後に、地図作りのまとめをしていて思ったのは、コンビニに色々な設備が揃っているということである。コンビニは24時間開いていて飲食物、トイレ、公衆電話などがあり、ピンチのときにはとても役立つと思う。また洞峰公園の設備も災害時に必要な物が揃っていた(シャワーや、軽食の自販機)。地図作りを通して、非常時に役立つ知識を得ることができ、良かった。

